

# 令和4年第1回市議会定例会質問者一覧表

(令和4年3月9日、3月10日、11日)

## 代表質問者一覧表〔第1回市議会定例会 令和4年3月9日開議〕

質問日	令和4年3月9日(水)			質問方式	分割方式		
質問順位	1	会派名	自由民主党浜松	議席番号	29	氏名	倉田 清一
表 題	質 問 内 容						答弁者の職名
1 令和4年度施政方針について	デュアルモード社会の構築で未来を“かたち”に重点テーマに取り組んだ令和3年度の状況、及び令和4年度の都市経営の基本的な考え方について、市長の考えを伺う。						鈴木市長
2 産業経済について	(1) 天竜区阿蔵山地区は、新東名高速道路浜松浜北ICから約4kmに位置していることから、第三都田地区工場用地の次の新たな工場用地としての活用が見込まれる地区であり、その開発は、地域住民をはじめ企業からも注目されている。また、国道152号は市街地と北遠地域をつなぐ主要幹線道路であり、現道の双竜橋交差点や山東交差点は通勤時間帯を中心に慢性的な渋滞が発生しており、阿蔵山地区を縦断する国道152号浜北天竜バイパスの早期開通を望む地元の声は日増しに高まっている。道路整備計画と工場用地計画が連携して阿蔵山地区の開発を進めていくことが重要である。 そこで、以下伺う。 ア 開発区域のアクセス道路となる国道152号浜北天竜バイパスの整備の状況と今後の整備予定を伺う。 イ 工場用地としての阿蔵山地区の開発・整備についての取組を、今後どのように進めていくのか伺う。						鈴木市長
(2) 都心の活性化について	(2) 本市の都心は県西部地域や三遠南信地域の「街の顔」であるが、人口減少・少子超高齢化や大規模集客施設の郊外化等に伴い、にぎわい・限界性等が衰退の一途をたどり、特にJR浜松駅を核とする回遊性が希薄で疲弊している。そこで、公共空間と民有空間を一体的に捉えた魅力的な空間形成など「真の魅力ある都心再生計画」を官民一体で策定し、都心活性化に積極的に取り組む必要があると考えるが、市の考えを伺う。						長田副市長
3 子ども・子育て支援について	子ども・若者支援プランに基づき、保育所等の施設整備を中心に進めてきた本市の待機児童対策は、昨年4月に保育所等利用待機児童ゼロを達成したことで大きな節目を迎え、今後は待機児童ゼロを維持しつつも、少子化を踏まえた需要と供給に見合った受け皿と施設の維						鈴木こども家庭部長

※二重線は、分割方式を選択した場合の分割箇所を示すものです。

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>持が大切になると考える。市では施設整備と併せて様々な対策を進めているが、現場の保育事業者からは、採用に重きを置いた対策と同時に、保育士の労働環境の改善により離職防止に努める施策が必要であるとの意見も聞いている。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 次期子ども・若者支援プランの策定に向けた、保育の受け皿確保の考え方を伺う。</p> <p>(2) 保育士の離職防止を事業目的とした国の「保育補助者雇上強化事業」を活用した保育事業者支援を本市も実施する考えはないか伺う。</p> <p>(3) 新たな働き手を確保するための事業の実施と、今後の取組についての考えを伺う。</p>	
<p>4 防災・減災、国土強靱化の加速化について</p>	<p>「浜松市国土強靱化地域計画」が策定されて3年目を迎えた。計画では、優先順位の高い15リスクシナリオと付随する142施策を重点化施策と位置づけるとともに、2017年を基準に、重点化施策の数値目標と年度を掲げている。また、国も「防災・減災、国土強靱化のための3か年緊急対策」に続いて、今年度から「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」がスタートした。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 「浜松市国土強靱化地域計画」の進捗状況と評価、今後の推進に向けての考えを伺う。</p> <p>(2) 市内の道路防災要対策箇所134か所のうち未対策箇所が114か所あり、目標の達成が難しい状況であると聞いている。本市では毎年、道路斜面における土砂災害が複数発生しており、対策の加速化が望まれている。</p> <p>そこで、道路防災対策の進捗状況と、防災対策の加速化に向けた国補助等の予算確保について伺う。</p> <p>(3) 近年の強い台風の上陸等により屋根瓦の飛散・脱落等の強風被害が多発していることから、国は、既存建築物の屋根に係る耐風診断と耐風改修に対する支援制度を令和3年度に創設した。静岡県では、国交付金を活用して既存建築物の屋根診断及び耐風改修に補助する市町への助成制度を令和4年度から創設する予定であるが、政令市はその助成制度の対象外と聞いている。</p> <p>そこで、既存建築物の屋根の耐風診断及び耐風改修に対する国の支援制度を活用するとともに、耐震改修に対する助成と屋根の診断・改修に対する助成を組み合わせるなど、木造住宅の耐震化を加速していく考えはないか伺う。</p>	<p>長田副市長</p> <p>高須土木部長</p> <p>井熊都市整備部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
<p>5 水道事業アセットマネジメント計画について</p> <p>(1) アセットマネジメント計画の改定について</p> <p>(2) 財政シミュレーションについて</p>	<p>(1) 平成30年2月に策定した水道事業アセットマネジメント計画について、昨年末に内容を見直した改訂版を公表したが、見直しの経緯と今後の施設整備方針及び必要となる建設事業費を伺う。</p> <p>(2) 財政シミュレーションでは、平成27年から令和46年までに必要になる経常収益及び5年ごとの増収率が示され、この50年間で最終的に1.5倍の経常収益を必要としている。今後、建設事業費が増加する一方で、人口減少等による有収水量の減少が見込まれ、近い将来、経常収益の約9割を占める水道料金の値上げが懸念される。そこで、今後の水道料金の改定に関する考え方について伺う。また、二部料金制における基本料金と従量料金の配分見直しに関する市の考え方も併せて伺う。</p>	<p>朝月水道事業及び下水道事業管理者</p>
<p>6 カーボンニュートラル推進事業について</p>	<p>2020年10月、国は2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする「2050年カーボンニュートラル」を宣言し、昨年6月には「地域脱炭素ロードマップ」を公表した。このように国を挙げた脱炭素が進む中、本市でも、2020年3月に2050年に向け「浜松市域“RE100”」の実現を表明した。</p> <p>その目標達成のためには、全庁を挙げ、今以上に取り組む必要があり、本年4月から、カーボンニュートラル推進事業本部が設置されることとなった。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 2050年カーボンニュートラルに向けた市長の考えを伺う。</p> <p>(2) カーボンニュートラル推進事業本部の業務と体制について伺う。</p>	<p>鈴木市長</p> <p>金原総務部長</p>
<p>7 高齢者施策について</p>	<p>団塊の世代が75歳となる2025年や団塊ジュニアが65歳になる2040年を見据え、「予防」「介護」「医療」「生活支援」「住まい」を一体的に提供できる「地域包括ケアシステム」の展開が必要であり、高齢者福祉施設はその一翼を担っている。しかし、社会福祉法人の抱える課題は多岐にわたり、介護が必要な高齢者が増える中で働き手が足りず、介護事業の運営が難しい状況もうかがえる。加えて、新型コロナウイルス感染症拡大防止や予防の観点からも難しい施設運営のかじ取りを迫られている。</p> <p>そこで、以下伺う。</p> <p>(1) 介護人材の確保に向けた支援事業について</p> <p>ア 介護職員の宿舍借上げについての支援制度を創設する考えはないか伺う。</p>	<p>山下健康福祉部長</p>

表 題	質 問 内 容	答弁者の職名
	<p>イ 外国人介護職員採用に対する現行事業を拡充する考えはないか伺う。</p> <p>(2) 高齢者福祉施設の老朽化及び修繕等に伴う改修等の支援制度について、大規模修繕等を含む「改修」について、「改築」と同等の支援制度を創設する考えはないか伺う。</p>	
<p>8 行政区再編について</p>	<p>令和2年9月の市議会全員協議会において「行政区再編は必要」との市議会の結論が出された以降、21回の行財政改革・大都市制度調査特別委員会（以下、「特別委員会」という）を重ね、昨年12月の特別委員会で新3区案が内定した。この間、令和3年3月の特別委員会では、各会派から示された2区案から5区案までの計13案から2区から4区案のたたき台6案を決め、その比較検討を進めるとともに、8月には天竜区を単独区にすることが決まり、区割り案のたたき台が6案から3案に絞られた。9月から10月にかけて7区の自治会連合会と区協議会へ中間報告を行い、各地区から多様な意見と心配の声が上がった。一方、当会派としては、これまでの検討結果を踏まえ本市にとってよりよい再編案を検討した結果、区の数、行財政改革及び住民に身近な行政区の強化や地域特性への配慮等を総合的に判断して3区とし、区割りは、浜松駅を核とする都心部が広がる沿岸部を含む地域、浜北駅を中心とする副都心を基軸とする産業と自然環境に恵まれた内陸地域、豊かな自然と地域特性を生かし定住できる天竜区の3区案と併せて配慮すべき課題を11月の特別委員会に提案した。</p> <p>そこで、新3区内定案について、市長の所感を伺うとともに、配慮すべき課題についての考えを伺う。</p>	<p>鈴木市長</p>